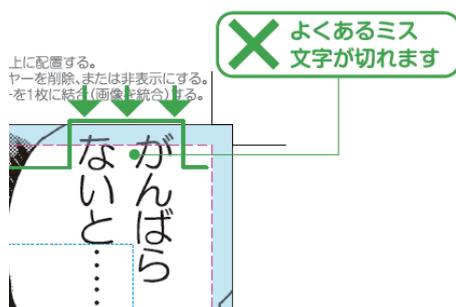


栄光テンプレートの使い方 ~本文編~

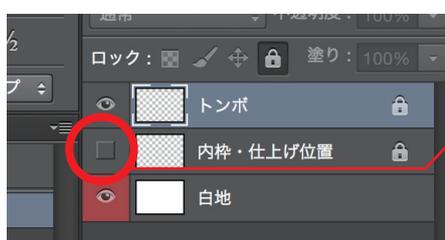


本文はテンプレートの実線の枠いっぱいまで描きます。

ただし周囲3mmは塗り足しなので、この範囲に切れてはいけない文字や絵が入らないように注意してください。仕上り位置からさらに3mm内側に収めるのがベストです。

(変形断裁で正方形の本を作る時は「正方形の天の仕上げ位置」のトンボを参照してください)

※内枠・仕上げ位置レイヤーについて



初期状態では、このレイヤーは**非表示**になっています。必要な方は表示させてご利用ください。



破線の枠が仕上げ位置=実際に本になったときに残る範囲です。

中の一回り小さい点線の枠は、原稿用紙の内枠にあたります。小説や4コマ漫画などは特に、この枠の中に文字や絵柄を収めるようにすると綺麗です。また、ノド(本を綴じる側)用に空けておく範囲の目安にもなります。

原稿を描き終わったら、「トンボ」レイヤーを一番上にして、「内枠・仕上げ位置」レイヤーは削除もしくは非表示にします。そうしたら、表示中のすべてのレイヤーを1枚に統合し、指定の形式で保存します

対応保存形式

推奨:tiff・eps / 可:psd・jpg(低圧縮)

モノクロ本文の場合はモノクロ二階調またはグレースケール、
カラー本文の場合はCMYKまたはRGBで保存。

栄光のテンプレートはグレースケール600dpi、フルカラー350dpiで作成しています。